

101 回生 短期海外留学プログラム【臨床】

参加者準備・注意事項

I. 各大学への応募書類作成・提出

応募書類は、国際担当から先方大学にメールまたは郵送で送る場合と、学生本人から直接先方大学にオンライン等で送る場合があります。どちらになるかは、大学別に案内します。作成した書類は、原則として国際担当が英文および内容のチェックをします。各大学の応募期限までに、要求される申請書類の作成と申請手続きを進めてください。

- **CV (履歴書)**

Honor/Award/Scholarship など、記載内容は事実に基づいて正確に書いてください。

- **推薦状**

指導教員（教授など）へは直接依頼し、作成・署名していただいでください。医学部長による Dean's Letter, Good Standing Letter は、国際担当が内容を確認のうえ、署名を依頼します。

- **Transcript (英文成績証明書)**

孝養舎入ってすぐ左の証明書自動発行機で入手してください。

- **Core Clerkship 修了証明書**

臨床留学する時点で Core Clerkship を修了しているという証明書は、国際担当から受け取ってください。

- **語学能力証明書**

留学先大学で求められている語学能力証明書の種類、点数を確認し、提出するようにしてください（通常、TOEFL または IELTS）。大学によっては試験の実施機関（ETS 等）から留学先大学へ直接送る必要があるため、確認のうえ早めに手続きを行ってください。

- **Immunization Record/Health Certificate (抗体検査の記録。大学により名称異なる)**

クリニックの医師に記載してもらってください。
予約の電話をする前に、母子手帳、慶應大学入学時の B 型肝炎検査結果の書類などを手元に

用意しておき、何が不足しているかすぐわかるようにしておくといいです。

日本渡航医学会 国内トラベルクリニックリスト：

<http://jstah.umin.jp/02travelclinics/index.html>

● 保険加入の証明

「学生教育研究災害傷害保険 及び 学研災付帯賠償責任保険」の証明書を国際担当が渡します(義塾の学生は全員加入しています)。これに加え、Malpractice/Liability Insurance 等への加入が必要な大学があります。その場合は、留学先大学の指示に従い、加入してください(1~3万円程度)。

● その他

留学先により、HIPPA, Child Protection Form, Drug Screen Form, 無犯罪証明書、財政能力証明書等、指定された必要書類を提出する必要があります。

II. 留学前の学習

● 英語

英語力、とりわけ Speaking 能力については、現地実習におけるコミュニケーションに重要です。派遣先の施設においては、患者さんのファーストタッチから学生が責任を持って担当することが多くあります。Preparation Course はもちろん、医学部英語教材ビデオ(ナレッジデリバー)の視聴、学生同士の勉強会や、英語の教科書の利用など、積極的に臨床医学英語能力を高めるよう努力してください。留学時には全員が TOEFL スコア 100 点程度の英語力を有することを目指してください。

● 夏休み中の宿題

Preparation Course 開始までに、以下の宿題を済ませてください。

1. 教材の読了(教材は別途配布)

2. 医学部英語教材ビデオの視聴

James Thomas 先生作成の模擬患者を使った診察ビデオを必ず全て視聴してください。

各自の視聴進捗状況をシステム管理画面で確認します。

<視聴方法>

keio.jp の画面に入り、左下の「カテゴリ別表示」「サービス」から「ナレッジデリバー」を選択、「医学部英語教材」をクリックすると、ビデオが視聴できます(「医学部学生版行動指針」と同じ要領です)。または、<<https://kd.keio.jp/>> から keio.jp の ID でログ

インすると直接アクセスできます。

● Preparation Course

Preparation Course は、現地で必要になる医学英語や医学知識を留学前に強化するためのネイティブ教員による特別授業で、出席必須です。

授業への出席率と評価は『地域基盤型臨床実習』の評点に含まれます（101 回生については未定）。受講形態、日程、場所等詳細については別途お知らせします。

- ▶ 必ず白衣着用（ポリクリ時と同様の Dress Code）
- ▶ 聴診器持参

先生が綿密に計画・準備した内容・構成ですので、遅刻・無断欠席厳禁です。遅刻・欠席する場合は必ず前日までに国際担当および先生に連絡すること。特に、外国人模擬患者がいる授業への、遅刻・無断欠席は他の学生や先生に多大なる迷惑をかけることになるので、特に注意してください。

Ⅲ. 出発前の準備

● パスポート

渡航先の国により、必要なパスポート残存有効期間が異なります。残存期間が足りない場合は、時間に余裕をもって申請してください。特に、夏休み・冬休み期間前などは窓口が混雑するので注意してください。

● ビザ（査証）

査証取得には、大使館・領事館での面接が必要で、予約が取りにくいので注意すること。アメリカ合衆国へ入国（乗り継ぎを含む）の場合、渡航前にオンラインで ESTA（電子渡航認証システム）申請を行い、渡航認証を受ける必要があります。近年、規制が厳しくなっているので、必要な手続きについて確認をしてください。

イギリスについては “Tier4”（イギリス学生ビザ）が必要です。

※COVID-19 の影響により、例年と異なる手続等求められることが予想されるので、注意して確認するようにしてください。

● 寮の申し込み

留学先大学の Elective プログラムの HP に学生寮や宿泊の案内がある場合があります。先着順に部屋が決まってしまうこともあるので、出来る限り早く申し込みをしてください。

● 出発日

日本でのポリクリ最終日には、口頭試問が行われる場合があるので、出発便を最終日夜の便にはしないでください。COVID-19 対策のための待機期間等が必要な可能性があるがあるので、確認してください。

- **留学先での健康情報の取得**

保健管理センターが HP で公開している「海外留学の健康の手引き」を参考にしてください。〈<http://www.hcc.keio.ac.jp/ja/health/health/care/juha-voyage.html>〉

- **海外旅行保険加入**

慶應義塾が包括契約をしている東京海上日動火災保険の海外旅行保険および危機管理サービスへの加入が必須です。危機管理サービスでは、学生が保険会社に 24 時間 365 日電話や LINE アプリでいつでも事故や体調不良時等に相談することができます。保険会社による説明会を開催予定なので参加してください。

- **渡航安全情報の確認**

外務省の渡航安全情報等をよく確認してください。
〈<http://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>〉

- **「たびレジ」への登録**

「たびレジ」は、短期渡航者を対象にした外務省の登録システムです。忘れずに登録してください。登録すると滞在先の緊急情報や安全情報をメールで受け取ることが出来ます。

「たびレジ」登録：〈<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>〉

- **誓約書・同意書**

誓約書・同意書（後日配布）をよく読み、所定用紙に保証人の署名押印をしたうえ、国際担当へ提出してください。

IV. 留学

義塾医学部が派遣する留学生として、指導医のもとで現地学生と同様に臨床実習に従事し、異なる文化社会における医療や医学教育を体験します。多忙で濃密な1ヶ月になりますが、多くを学び元気に帰ってきてください。皆さんの実習での態度が翌年度以降の留学プログラムにも影響しますので、真摯に、積極的に実習に取り組んでください。

現地での生活については、先輩の臨床留学報告書や、国際センターの留学の手引きを参考にしてください。

留学の手引き：〈http://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/guide/after.html〉

留学報告書: <<https://www.students.keio.ac.jp/sn/intl/unique/>>

(2016年度以前のもものはwebではなく冊子で、国際担当事務室にあります)

V. 留学後の提出物・報告

● Evaluation Form

所定の Evaluation Form (後日配布) を留学先の実習指導教員に記入・署名いただき、留学期間終了までに直接受け取り、国際担当へ提出してください。

直接受け取ることが難しい場合は、International Office, Keio University School of Medicine <ic-shinanomachi@adst.keio.ac.jp> 宛てにメール添付 (PDF 形式) で送るよう依頼してください。

提出期限: **留学先での実習最終日より3週間以内**

提出先: 国際担当

未提出の場合は、『地域基盤型臨床実習』単位認定されません(101回生は未定)。

● 留学報告書

留学先での成果を記載した報告書を提出してください。留学報告書の提出と内容は『地域基盤型臨床実習』の評点に含まれます(101回生未定)。

提出期限: **留学先での実習最終日より3週間以内**

提出先: <ic-shinanomachi@adst.keio.ac.jp> Word 添付 (PDF 不可)

【作成要領】

- Microsoft 社 Word 使用
- 横書き
- A4 サイズ
- Font: 日本語 MSP ゴシック、英語 Arial, Size 12 (日英共)
- 1行40字、1ページの行数36行
- 枚数は表紙を含まず3ページ以上、約10ページ以内
- ページ番号を付ける
- 表紙は必ず付け、以下の事項を含む

(研修先大学名) ○○大学

(研修先病院名、診療科名) ○○病院○○科

(研修期間) 2021年 月 日～ 月 日

(所属) 慶應義塾大学医学部

(○○回生・氏名) ○○回生 慶應 太郎

【内容に関する注意事項】

- 後輩、医学部教員だけでなく、学外関係者（例：奨学金支給企業）も閲覧します。
 - 後輩にとって参考となる情報を書いてください。
例：派遣先大学への申請手続きの内容、流れ、要する時間、大変だったこと、留学前に実行した英語勉強法、準備してよかったと、後悔したこと、実習の内容（実際にやらせてもらえたこと、見学にとどまったこと等、書ける範囲で具体的に）。
 - 観光に関する記述の割合が多くならないようにしてください。
 - 報告書に詳細を記載することなく、「詳細や質問があれば直接連絡してください」との記載は認められません。
 - 塾生サイトに公開されるので、メールアドレス等個人情報は記載しないでください。
- **発表報告会**
留学後に開催を予定しています。PPT 使用、英語による発表となります。

以上

信濃町キャンパス国際担当